

a学校教育目標	ふるさに愛着と誇りを持ち、ゆめの実現に向けて学び続ける児童の育成	a経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】 統合経験校としての財産を地域・学校に発信し、円滑な学校統合及び小中連携教育の推進に貢献する。 【ビジョン】 ふるさを大切に子どもを育成する教育活動を展開し、地域の信頼が集まる学校をつくる。										学校関係者評価		改善計画								
			評価計画		評価基準		7月1月		達成率		結果と課題の説明		コメント										
u中長期目標	d短期経営目標	d目標達成のための方策	e評価項目・目標	1目標値	5点	4点	3点	2点	1点	7月達成率	1月達成率	h達成率	i評価	イ	ロ	ハ	m改善案						
確かな学力の育成	教師の指導力・授業力の向上を図り、確かな学力を身につけさせる。	○小中授業スタイル(目標提示・まとめ・キーワード)・学びの7か条を意識した授業を行う。	教師の自己評価を毎学期行い意識を高め、昨年度より達成率を上げる。	児童の達成率70%	80%以上	75%以上	70%以上	65%以上	60%未満	91%	100.0%	5	5	3	0	0	・「論理的に話す力を高める」ことの評価が可能か。 ・評価項目は焦点を絞って簡潔にするとうい。 ・全体の指標や目標値は妥当か。 ・目標に向かってしっかり計画されて取り組まれているのが分かった。 ・これからのせらにしの子どもとして自信と誇りが持てるような教育活動を望みます。	授業スタイルをさらに意識させる。児童の言葉で授業のまとめができるようにしていく。					
				発表する時、理由づけ・結論先行・ナンソリソング・順序立てて使う児童を増やす。	80%	80%以上	85%以上	80%以上	75%以上	70%未満	75%	94.0%	2	1	0	2	1	0	発表する時には常に結論先行・理由づけを意識させる。そのために教師も話をするときに意識する。				
				単元テストにおける読心力・数学的な考え方の考え方を、全国平均より5ポイント上げる。	全国平均	60ポイント以上	30ポイント以上	全国平均	ポイント以下	60ポイント以下	ポイント以下	ポイント以下	138.0%	4	3	0	3	0	0	個人差が大き、学力が二極化している。読む力(+3・8)数学的な考え方を(+0・4)である。今後は個に対する支援を検討する必要がある。	個々の課題を明確にし具体的な手立てを考える。本時のめあてを明らかにしゴールの見える授業を展開する。児童が分かる授業をめざす。		
				○実態把握、個々のニーズに応じた支援のあり方について研修を深める。	全学級で、研究授業の中で、個に応じた手立てを2点以上行う。	2点	4点以上	3点	2点	1点	0点	2点	100.0%	3	3	0	3	0	0	授業の中で手立ての提示はあったが、効果的な支援はまだ十分でない。個に応じた支援について研修や実践交流を深めてい。	個々の理解度を把握し声かけや具体的な指示を行う。		
豊かな心の育成	家庭・地域と連携し、様々な体験活動を通して豊かな人間性と感性を育てる。	○大きな声で挨拶する児童を育てるために、「挨拶のレベル」を作って推進する。	毎月の挨拶期間の集計と、学期ごとの保護者アンケートの集計をする。	80%	80%以上	85%以上	80%以上	75%以上	70%未満	91%	114.0%	5	3	0	3	0	0	地域で挨拶する児童が増えきたが、まだ声がかく留まっているとはいえない。「挨拶名人」をしっかりと評価し、さらに意識を向上させる。	学級指導を継続して行い職員全員で声かけを行う。				
				(1)社会に適應する人間関係作りを進める。(挨拶・掃除・きまりを守る)	○時間いっぱい掃除する態度を育てるために、担当職員が児童とともに掃除をし肯定的評価をする。	掃除頻り返りカードの集計をする。	80%	90%以上	80%以上	85%以上	80%以上	75%未満	80%	101.3%	3	3	0	0	3	0	0	ほぼできているが、何をしたらよいか分からないため、時間いっぱいできない児童もいるので、「手紙カード」を使い適切な掃除の仕方について指導し振り返りを継続して行う。	教師も共に掃除を行い具体的な手順を示し毎日評価を行う。
				(2)道徳教育の質の向上を図る。	○「ポテンをきちんととめる」持物のきまりを守る」についての全体・学級指導を徹底する。	月1回以上、全校集会や学級で調べ、指導する。	80%	90%以上	80%以上	85%以上	80%以上	75%未満	93%	109.0%	4	3	0	3	0	0	だいたい守れているが守れていない児童が固定化しているため、個別指導や全職員で声かけを行う。	守れていない児童について個別に指導を行う。	
				(3)読書好きの子どもを育てる。	○読書の時間を工夫(役割演習・資料提示方法・導入の仕方等)する。	毎月の報告に気づきを入れ、全体の達成率を上げる。	2種類	4種類	3種類	2種類	1種類	0種類	3種類	150.0%	4	3	0	3	0	0	全学年毎月平均3種類の指導の工夫を行い、目標達成に向けて努力した。さらに工夫をして内容の充実を図る。	校内研修において資料分析やシミュレーションに重点をおき授業力を高める。	
自らを鍛え、自らを管理する力を育てる。	(1)児童の体力を向上させる。	○毎月50m走の記録を取り目標値を持たせて取り組み、記録向上を図る。 ○朝会時のジョギングや大休憩の脚力強化運動(ラダートレーニング)を取り組む。	50m走で4月の最高タイムを更新することができた児童の割合(評価7月)を95%以上にする。	80%	95%以上	90%以上	85%以上	80%以上	75%未満	51%		1	3	0	3	0	0	50m走のタイムを更新することができた児童が少なかった。ラダートレーニングに目標を持って取り組ませたり、外遊びを推奨したりすることでタイムの更新を図る。	引き続き、ラダートレーニングに目標を持って取り組ませる。				
			(2)食育の充実を図る。	○講師(栄養士)を招いた研修の充実を図る。 ○学期に2回単履早起朝ごはん週間を設定する。	年3回各学年で食育指導を行う。	3回	5回	4回	3回	2回	1回	0回	3回	100.0%	3	3	0	0	1・2・6年生で食育指導を行った。来年度につなげるためにファイルを作成し資料を残すようにした。未実施の学級は今後実施予定である。	食育指導の年間計画にも続き栄養士さんと連携を取り指導を行う。			
			信頼される学校づくり	(1)地域、保護者へ学校・学級情報の発信をし、信頼される学校をつくる。	○地域、保護者へ学校・学級情報の発信をし、信頼される学校をつくる。	○学校だより・保健だより、HP更新を月1回する。	1回	3回	2回	1回	0回	0回	3回	150.0%	4	3	0	3	0	0	各たよりの発行については、目標を十分達成することができた。さらに内容の充実を図ることが課題である。HPについては目標を達成することができなかったため、夏季休業中の研修を生かし今後は計画的に更新する。	夏季休業中の研修を生かし目標を達成できるように声かけを行う。	
						(2)地域の教育力を活用した「ふるさと学習」の推進を図る。	○地域の自然・文化・歴史・人材等を生かした「ふるさと学習」に取り組み、学んだことを基に地域へ貢献しようとする児童を育てる。 ○地域の自然・文化・歴史・人材等を生かした学習を各学年年間2回以上取り入れる。 ○地域を生かした「ふるさと学習」で学んだことを基に地域へ貢献する。(アンケート・手紙・掃除・まとめの掲示等)	2回	4回	3回	2回	1回	0回	2回			3	0	0	3	0	0	ふるさと学習は全学年2回以上取り組むことができた。また、学んだことを交流・手紙・掲示の形で地域へ紹介することが全学年2回以上実施することができた。今後はさらに内容の充実を図る。
(3)システムの充実・改善を図る。	○方策進行管理を計画的に実施することで、システムの充実と改善を図る。	○評価の方策進行管理(状況把握・見直し・改善)を年間5回行う。	5回	7回	6回	4回	3回	2回				3	0	0	3	0	0	5月と7月に方策進行管理を行い、成果と課題を明らかにした。改善案を話し合い取り組みを進めているところである。	7月の課題に対しての改善案を各都で話し合い全体に周知徹底し取り組みを進める。				